

「地域の見守り支えあい活動」について、 熱心に語り合いました!!

地区社協全体研修

泉区内で住民同士の見守り意識が高まるなか、改めて地区社会福祉協議会(以下、「地区社協」)の役割と他機関との関わりを考えるために、地区社協全体研修を、平成30年8月28日(火)に開催しました。当日は地域ケアプラザなどの職員も含め84名の参加があり活発な話し合いがされました。

最初に、講師の社会福祉法人大樹の山本一郎理事長より、「ご近所さんの協力を得て、気になる人を発見し見守ることが大切である」と、見守り活動を進めるポイントをお話いただきました。また、支え合いマップの作成に取り組んでいる大丸西友愛会の実践報告では、「畑の作業や犬の散歩などを通じた住民同士のつながりが見えてきた」「地元住民と接点がなかった障がい者と挨拶を交わすようになった」などの発表がありました。

その後、参加者同士で、「こんな見守りがあったら安心!と思うこと」などのテーマで話し合い、「近所の方から民生委員へ連絡していただくのがベスト」「団体同士のつながりが大切」「個人情報壁を越えて情報交換できるとよい」など提案されたほか、他地区の状況を知る貴重な機会となりました。区社協では、これを機に区内の見守り支えあい活動がさらに進むよう、引き続き皆さんとともに取り組むを進めます。



住民同士の関係性をマップに落とし込み、自発的な見守り支えあい活動がどのように行われているかを「見える化」する取組です。

支え合いマップとは...

住民同士の関係性をマップに落とし込み、自発的な見守り支えあい活動がどのように行われているかを「見える化」する取組です。

地区社協の いちおし 活動

上飯田団地地区 上飯田「暖」地コミュニティカフェ

開催日: 毎週水曜日 9時～15時
場所: 上飯田団地第1集会所
対象: どなたでも参加できます
内容: 「自由な居場所づくり」と「暖かな見守り」を目的に活動しています。コミュニティカフェは、持ち込みが自由なので、昼食時には皆で会食を楽しんでいます。地域ケアプラザや区社協とは常に情報交換をしています。



「好きな時に楽しめれば」が合言葉です

中田地区 障がい者も地域の仲間

開催日: 随時
場所: 連合自治会館や障がい者施設等
対象: どなたでも参加できます
内容: “障がい者も地域の仲間”であることを地域全体でしっかり認識するために、障がい者施設の代表を講師に招いての研修会、当事者やそのご家族との交流会、施設訪問、模擬店開催時の応援依頼などを行ってきました。今年度は、音楽祭を計画したいと考えています。



交流会の様子です

いちょう団地地区 ふれあい福祉まつり

開催日: 平成30年9月2日 9時～14時
場所: 第1集会所及び第2集会所
対象: どなたでも参加できます
内容: さまざまな世代の方々が参加できる内容のイベントです。輪投げやボールプールのほか、大正琴やかっぱれ踊りの発表、健康測定などを行いました。焼きトウモロコシやかき氷などの模擬店を出店しました。



健康測定のコーナー大賑わいでした!

しらゆり地区 ひよっこ教室

開催日: 奇数月 第3火曜日
偶数月 第3火曜日及び第4金曜日
10時～11時30分
場所: しらゆり集会所ホール
対象: しらゆり地区にお住まいの乳児とその親
内容: ひよっこ教室では、離乳食指導など子育てに関するアドバイスに取組むほか、人形劇鑑賞などのイベントを開催することもあります。ひとり暮らしの高齢者の方の参加も大歓迎です。



たくさんの親子が集まります!

泉区ボランティアセンター通信
キラッとかがやく泉のボランティア



ボランティアについてのお問い合わせ先 お気軽にどうぞ!
泉区ボランティアセンター
☎802-2150 FAX 804-6042
(月)～(土) 9時～17時
E-mail: izumiku01@yokohamashakyo.jp

講座報告

平成30年8月4日(土) 踊場地域ケアプラザとの共催で「視覚障がいの理解」講座を開催しました。

当日は最年少15歳の方をはじめ、9名の参加がありました。

視覚障がい者である女性と長年視覚障がいのある方の誘導ボランティアをされていた方を講師としてお迎えしました。座学では、先天的・後天的な障がいのことや見え方の違いについての話がありました。また、アイマスクをした状態でコインを持つ、折り紙を折るなどの手の感覚体験を行い、それぞれが感じたことなどを、自由に意見交換しました。



9月15日(土)の点字体験では、戸塚区の点字ボランティアグループより講師をお迎えし、点字の体験をしました。実際に打ってみる体験だけではなく、商品についている点字の説明などを加えてもらい、いろいろ工夫されていることがわかりました。本講座は、10月13日(土)の誘導体験を含め、3回実施しました。視覚障がいの理解が深まり、参加者全員が心を通わす講座となりました。今後も、さまざまなボランティア講座を開催します。お楽しみに!



ボランティア 募集のお知らせ

施設でのレクリエーションやイベント、ドレイヤーかけなどの身のまわりのお手伝い、地域のお祭りでのお手伝いなど小学生から大人まで、男女問わず募集しています!

関心のある方は
ボランティアセンター
までお問い合わせ
ください。



泉区災害ボランティア連絡会

災害に備え訓練実施

区社協は災害発生時には、泉区災害対策本部の要請に基づき災害ボランティアセンター(以下、「センター」)を開設します。しかし、センターの運営は区社協だけでは困難なため、地域住民が主体となり構成する泉区災害ボランティア連絡会(以下、「連絡会」)の協力を得て、運営にあたります。センターは、主にボランティアの救援要請とボランティアをマッチングして送り出す役割を果たします。

平成30年9月6日(木)、泉区役所主催による泉区災害対策本部運営訓練が実施されました。この訓練は、地域や防災関係機関が連携し、区内の災害対応能力の強化を図ることを目的としています。今回は、発災後72時間までにセンター開設を想定し、地域防災拠点などから寄せられるさまざまなニーズを正確に受信し、ボランティアの派遣・調整する訓練を実施しました。泉区役所千田満総務課長は、「訓練を通じ連携を強化することで、区民が必要とするニーズを迅速にボランティア活動につなげたい」と話しました。

また、9月30日(日)には、災害シミュレーション訓練を、連絡会会員や地域防災拠点の関係者を対象に、泉区役所で実施しました。当日は多くの関係者が参加し、センターの役割への理解を深めました。連絡会の乾英昭副代表は、「センターの運営は地域の皆さんの協力が不可欠。訓練等を通じて連携を深めたい。また、今後は地域防災拠点との合同訓練を実施し、災害時に備えた取組を一層進めていきたい」と力強く語りました。



9月30日、訓練の振り返りの様子